

長崎県立島原翔南高等学校における



インクルーシブ教育

インクルーシブ教育とは、子どもたち一人ひとりが多様であることを前提に、障がいの有無にかかわらず、誰もが望めば自分に合った配慮を受けながら学べる教育のことです

教室環境のUD化



●すべての生徒が落ち着いて学習できる環境

- ・教室や座席の配慮
- ・整理整頓のための工夫
- ・統一化された掲示板



ユニバーサル デザイン
UD (Universal Design)

→年齢や障がいの有無等に関係なく、できる限りすべての人が利用できるように製品や環境をデザインすることです

授業のUD化



●「授業のルール」により工夫・配慮された授業

- ・板書の工夫…文字の大きさ、チョークの色づかいを配慮
- ・授業のポイントの明確化…授業の目標・振り返りの実践
- ・視覚的な情報の提示…ICT機器等の活用



通級による指導



●学校生活での困り感を解消する授業

(「AIL」=Activities for Independent Lives)

- ・「個別の指導計画」によるPDCA
- ・コミュニケーション能力を高める指導・支援
- ・心理的な安定をはかる指導・支援



「通級による指導」

→学習や人間関係、集団行動等に困り感や不安がある生徒を対象に特別な教育課程を編成して受けることができる授業のことです

★すべての生徒が落ち着いた環境で学び、「わかる」授業を目指しています

